布引だより

～　一人ひとりがキラリ輝く布引の子　～

令和３年11月５日
No. 7

布引小学校ブログもご覧ください→
http://www2.higashiomi.ed.jp/nunosyo/

第6学年全国学力・学習状況調査を行いました

昨年度はコロナウイルス感染症の影響で実施されなかった全国学力・学習状況調査ですが、今年度は実施できました。この調査は結果を地域や学校ごとに分析・検証し、見えてきた課題を今後の生活改善や授業改善に役立てていくものです。調査の点数が良い、悪いにとらわれるのではなく、調査に出題される問題は「これから生きていく上で必要とされている力」ということを認識して、課題となったところの改善に努めていきます。

学力調査について

本校の課題と求められている力

考えを理論立て言葉で説明する力

簡単なたし算で道のりを求める問題がありました。

「Aコースの道のりはBコースより何m短いですか。求め方を式や言葉を使って書きましょう。」

答えを求めるだけでなく、自分の考えを理論立てて言葉で説明する力が必要です。

学校の授業では、毎時間学習の初めにその日の学習のめあてをはっきりさせます。今までのめあては下のようなものが多かったと思います。

○今までのめあての例

「A は B より何m短いか考えよう」

→ノートに式と答えさえ書けばめあてを達成したことになります。

○今後、設定しなければならないめあて

「A は B より何m短いか式と言葉で説明しよう」

→考えた理由を言葉で説明しないとめあてを達成できません。

毎時間の学習のめあてを少し工夫することで、今求められている力がついていくのではないかと考えます。今後、できるだけ下の学習のめあてようなものに変更していきます。



1

たけるさんたちは、地域の昔のことについて調べるために、博物館と城と図書館へ行きます。

(1) たけるさんたちは、駅に集合してから博物館へ行きます。
博物館の後のコースについては、下の２つのコースを考えました。

2つのコースと道のり

Aコース　博物館 → 城 → 図書館 → 駅
Bコース　博物館 → 図書館 → 城 → 駅

3000 m
1600 m
1000 m
1000 m
1500 m
2700 m
駅
博物館
城
図書館

たけるさんたちは、道のりがBコースより短いAコースで行くことにしました。
Aコースの道のりは、Bコースの道のりより何ｍ短いですか。
求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

情報を選びまとめる力

国語では、いくつかの条件を満たして短い文を書くという問題がありました。子どもたちは今後、生きていく上で、様々な文章を読むことになると思いますが、その中で、多くの情報の中から自分が今欲しいものを選びとらなくてはなりません。それが「目的を意識する」ことです。

学校では作文を書いたり、調べ学習から新聞を作ったりします。そういった学習で、何のために書くのかとか、自分は何を調べて何を伝えたいのかを最初に明確にすることが大切です。

例えば、調べ学習をして新聞を作るとき、事典やインターネットを使って調べることが多いですが、そこには様々な情報があります。しかし、最初に自分が何を伝えたいかはっきりしていればその中から必要な情報だけを選び取ることができます。事典の言葉を丸写しして新聞を完成させるのではなく、今後は、なるべく事典等の中から伝えたいことを選んで、自分の言葉で書き表す指導をしていきます。

国語で課題が明らかとなったのは右のような問題です。一定の条件のもと、自分の考えを文で表さなくてはなりません。詳しく分析を行うと、出された条件三つの内、一つか二つは満たしているものの、三つとも満たされていない答えが多いことがわかりました。

四　相川さんは、【資料】を読み、面ファスナーが宇宙でも使われていることについてまとめています。面ファスナーは、国際宇宙ステーションの中でどのように使われていますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉
- 面ファスナーのよさを取り上げて、国際宇宙ステーションの中での使われ方について書くこと。
- 【資料】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 五十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。

※左のげんこう用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

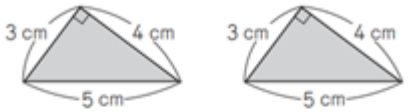
基本的な数学的な概念を知り、様々な場面で応用する力

下の問題では、三角定規の組み合わせ方を変えても面積は変わらないことを理解しているかがわかります。「比べられない」と答えた児童が多くいました。「三角形の面積を求めなさい」という問題ならば、公式を使って計算し、ほとんど正解だったと思います。求められている力は、「面積とは何か」「公式はなぜそんな式になるのか」という根本的な概念を理解していることです。1平方センチメートルは1センチ×1センチの正方形で、それが何枚敷きつめられるかが平方センチメートルであるという概念をしっかり理解していれば、三角定規の並べ方を変えても面積は変わらないことがわかるはずです。

これからの必要な力は、公式を覚え、使えたらそれでよいのではなく、なぜそうなるのかまで理解し、社会生活の様々な場面で応用できるようになることだと考えます。

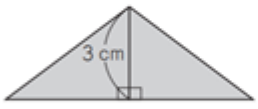
日々の学習では、今まで以上に実際に操作してみることや、視覚で理解する活動をとおして、根本的な「意味・概念」を理解できるようにしていきます。

(2)　図1の直角三角形が2つあります。

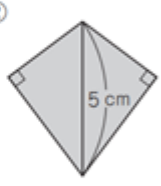


上の2つの直角三角形を使い，同じ長さの辺どうしを合わせると，下の①や②の図形をつくることができます。

①



②



上の①と②の図形の面積について，どのようなことがわかりますか。下の **1** から **4** までの中から1つ選んで，その番号を書きましょう。

1　①の面積のほうが大きい。
2　②の面積のほうが大きい。
3　①と②の面積は等しい。
4　①と②の面積は，このままでは比べることができない。

例えば、2年生算数「新しい計算のしかたを考えよう」（かけ算）です。かけ算の学習ですが、これまでもおはじきを操作して答えを出すというようなことはもちろん行ってきました。しかし、こういった操作は、どの学習でも概念を理解するための学習として、これまで以上に時間をかけて行っていかなくてはならないと考えます。さらに、問題を日常生活の問題に落とし込むことで、計算が「覚えるもの」ではなく「活用するもの」であることに気付き，活用しようとする態度を育んでいきます。





学習状況について



「朝食を食べる」などの基本的な生活習慣はできているという回答が多かったのですが、やはり以前から市内全体でも課題とされている、ゲームの時間が長かったです。ノーゲームノーテレビデーにはご家庭の協力もいただき、成果が表れています。というのも、読書時間は結構長かったからです。これからもご協力をお願いします。

また、将来に夢や希望を持っていると答えた児童の割合が少ないことや、学級で何かをやり遂げた経験があると答えた児童、学習が将来役に立つと思っている児童が少ないことも大きな課題と捉えています。これは一昨年の調査でも課題となっているところで、学校では「キャリア教育」「学級活動（学級会）」に重点を置き取り組んでいるところですが、引き続き重点項目にしていきます。

実りの秋！！
修学旅行・校外学習



緊急事態宣言があけた 10 月。多くの行事が実施できました。７，８日、平和と歴史を学び、絆を深めた６年生修学旅行。本年度は感染対策もあり、福井・長浜方面への旅になりました。１日目、敦賀ムゼウムでは、杉原千畝さんが発行した「命のビザ」を携えたユダヤ難民やポーランド孤児が上陸した日本で唯一の港で歴史を学んだあと、芝政ワールドではアーチェリー等チームビルディングやアトラクションを楽しみました。２日目は長浜ウォークラリーをはじめ安土城考古博物館を見学して歴史や文化を学びました。初めて親元を離れての宿泊、友達と過ごした時間は、かけがえのない経験になったと思います。











